

## 消防職員OBによる消防災害支援隊を発足

千曲坂城消防本部

千曲坂城消防本部では、平成30年4月1日、消防職員OBで構成された消防災害支援隊、愛称「SWALLOW」を発足しました。この「SWALLOW」は、管内で大規模災害の発生又は恐れのある場合において、消防本部が行う活動や避難所での後方支援などを主な任務としています。発足式では、隊員登録証の交付並びに装備品の貸与、また代表隊員による決意表明の他、式典後は消防保有資機材の確認・取扱い、心肺蘇生法などの応急手当の実技研修を行い、消防職員と隊員との連携強化を図りました。



## 大規模災害発生時における消防車両への燃料供給に関する協定を締結しました

湖南広域消防局

東日本大震災から7年を迎えようとする平成30年3月8日に当消防局管内事業所と「大規模災害発生時における消防車両への燃料供給に関する協定」を締結しました。

この協定締結により、地震などの大規模災害が発生した際には、消防車両が優先的に給油できる体制を構築することができ、長期化する災害であっても安定的な消防活動を実施することができます。

東日本大震災や熊本地震の教訓を生かし、大規模災害発生時においても消防活動に支障がでないように万全を期していきます。



# 消防通信 望楼 ぼうろう

## 火災の被災者の生活再建のための外国語版の資料を作成しました

東大阪市消防局

東大阪市消防局では、火災の被災者が迅速に生活を再建できるように、各種証明書等の再交付、就学援助などの優遇措置、減免措置等の手続きをまとめた資料を作成し配布していました。しかし、市内には外国人居住者も多く、一人でも多くの市民に対応していただくため、東大阪市人権文化部文化国際課（国際情報プラザ）の協力で英語、中国語、韓国語の資料を作成、ウェブサイトで公開しました。今後も市民ニーズを的確にとらえ、消防業務に反映させてまいります。



## 平成29年度消防記念日講演会を実施

尼崎市消防局

尼崎市消防局では、平成30年3月5日（月）に尼崎市防災センターにおいて、平成29年度消防記念日講演会を実施しました。この講演会は、自治体消防が発足した3月7日の「消防記念日」にちなみ、消防職員の資質及びモチベーションの向上並びに消防組織の強化を図ることを目的に毎年開催しています。今年度は、元大相撲立行司 第36代木村庄之助 山崎敏廣氏を講師に迎え、「努力は実る」と題し、行司の最高位である第36代木村庄之助まで上り詰めた経験をもとに、「やる気・根気・負けん気」を源に努力を継続することの大切さ、仕事に対する志など身近な例を交えながら非常に分かりやすく、熱のこもったご講演をしていただきました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。  
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】